

スポーツで人とまちが一つになる

町 田 市
ス ポ ー ツ
推 進 計 画
1 9 - 2 8



計画期間

本計画は2019年度から2028年度の10年間とします。

計画策定の主旨

本計画では、2013年度に策定した町田市スポーツ推進計画の計画期間満了を受け、基本理念と目指す将来の姿は踏襲しながら、働き盛り世代のスポーツ実施率向上など、アンケート調査等から得られる課題を基に、計画の構成と施策を見直したうえで、今後10年の方向性を示していきます。あわせて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会の開催を目前に控え、スポーツを取り巻く環境の急激な変化を好機と捉え、取り組みに活かしていきます。

本計画における「スポーツ」

本計画では、スポーツ基本法の考えに基づき、身体を動かし、楽しむことを原点として、自らが目的を持って身体を動かすことを広くスポーツと捉えています。

スポーツに期待すること

スポーツには、喜びや達成感といった精神的充足や、多くの人に感動を与える力があります。また、スポーツを継続的に実施することは健康の維持・増進にもつながり、共にプレーした仲間とのチームワークやフェアプレーの精神を育みます。更に、実際にスポーツを観戦したり、地元チームを応援したりすることは、まちのにぎわいを創出し、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成します。スポーツを楽しむ人が増えていくことで、様々な社会的効果に波及していくことが期待されます。

町田市のスポーツ資源

ASV ペスカドーラ町田



創設：1999年
現在、日本最高峰のフットサルリーグであるFリーグに所属

活動拠点
市立総合体育館

キヤノンイーグルス



創設：1980年
現在、日本ラグビーの最高峰であるジャパンラグビートップリーグに所属

活動拠点
キヤノンスポーツパーク（練習場：町田市小野路町）

FC 町田ゼルビア



創設：1989年
現在、日本プロサッカーリーグJ2リーグに所属

活動拠点
市立陸上競技場

まちだサポーターズ



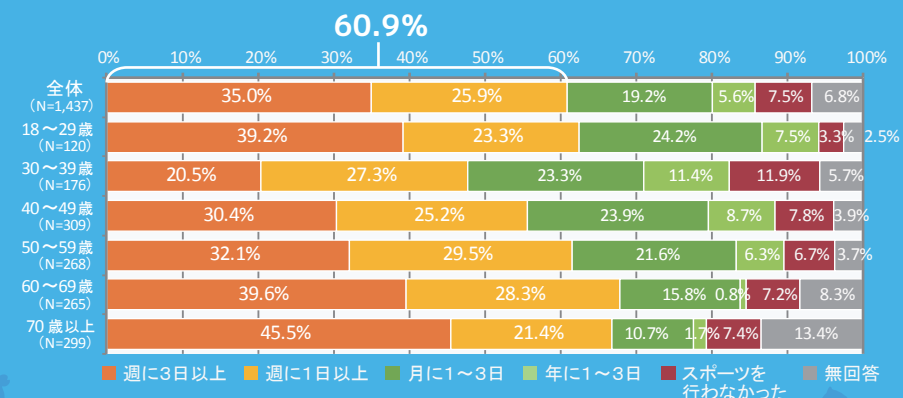

スポーツ祭東京2013から活動しているスポーツボランティアで、市内のスポーツイベントで活躍しています。

市のスポーツの現状（2018年度）

スポーツ実施率

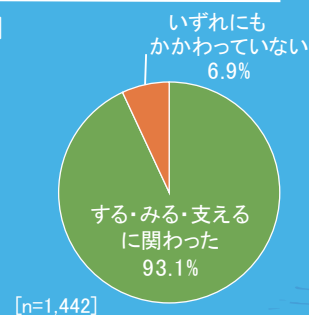
週1日以上スポーツを実施している市民の割合は、60.9%となっています。

世代別にみると30歳代のスポーツ実施率が最も低くなっています。



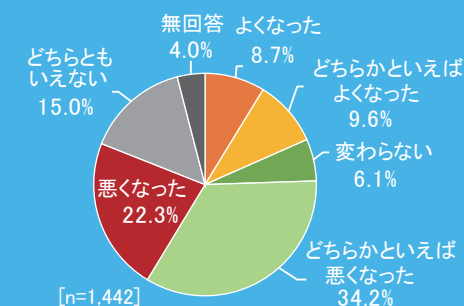
「する」「みる」「支える」スポーツのいずれかに関わった市民の割合

「する」「みる」「支える」スポーツのいずれかに関わった人は93.1%となっています。



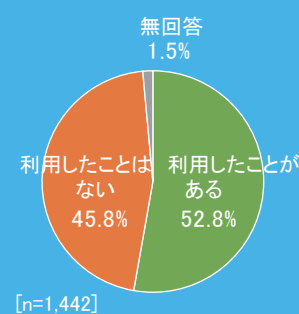
子どものスポーツ環境

悪くなったと感じている人が半数を超えています。



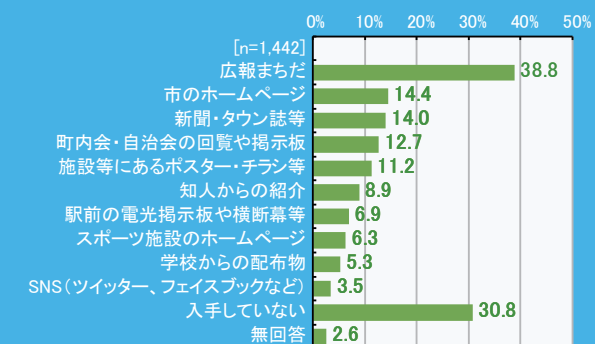
スポーツ施設の利用経験

「利用したことがある」人は52.8%となっています。



市のスポーツに関する情報の入手先

「広報まちだ」が38.8%となっています。



主なスポーツ施設



スポーツで人とまちが一つになる



市民誰もがスポーツを楽しむことができ、スポーツを通じて様々な各主体が連携してまちのにぎわいと魅力が生まれ、市民の愛着・誇りが高まります。

基本目標

将来の姿の実現に向けて4つの基本目標をかかげます。

01



基本目標 01
スポーツへの
参加機会の充実

02



基本目標 02
スポーツに関わる
人材と組織の充実

03



基本目標 03
スポーツ環境の
充実

04



基本目標 04
スポーツを通じた
まちづくり

施策の連携について

将来の姿の実現にむけた施策や事業は独立して行うものではなく、関連する分野や施策が横断的に関わり合い、スポーツ推進に携わる各主体が連携・協働することで多様化するスポーツ推進の課題を解決していくものとします。

基本目標		指標	現状値	目標値		推進施策	
				2023	▶ 2028		
01 スポーツへの参加機会の充実 生活の状況に応じていつでも、誰でもスポーツに参加できる機会を充実していきます。また、仲間づくりやいきがづくりなど、競技スポーツとは異なる視点で「スポーツに関心のない市民」にスポーツの参加機会も充実していきます。 	基本施策(1)	子どものスポーツ推進	「スポーツが嫌い」という回答の割合	小5 8.8% 中2 14.0%	▶ 小5 6% ▶ 中2 9%	▶ 小5 2% ▶ 中2 4%	「身体を動かすことに興味を持つきっかけづくり」「保護者へのスポーツ啓発」「子どもたちがスポーツを楽しめる場所の情報提供」といった取組を推進していきます。
	基本施策(2)	働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進	30-49歳のスポーツ実施率	男性 52.0% 女性 53.7%	▶ 男性 61% ▶ 女性 61%	▶ 男性 70% ▶ 女性 70%	「事業所によるスポーツの取組の推進」「日常生活や子育て中のスポーツ啓発（意識して身体を動かすこと）」といった取組を推進していきます。
	基本施策(3)	高齢者のスポーツ推進	70歳以上の「スポーツをしていない」という回答の割合	男性 24.6% 女性 28.9%	▶ 男性 21% ▶ 女性 25%	▶ 男性 18% ▶ 女性 21%	「スポーツを通じた地域参加のきっかけづくりと世代間交流の促進」「自主的に活動するグループへの新たな取組みの働きかけ」といった取組を推進していきます。
	基本施策(4)	障がい者のスポーツ推進	「障がい者のスポーツに関わった」という回答の割合	6.7%	▶ 12%	▶ 15%	「障がい者のスポーツ参加機会の提供」「パラリンピック開催を契機とした障がい者スポーツの理解促進」といった取組を推進していきます。
02 スポーツに関わる人材と組織の充実 多様なニーズに応じて適切な指導を行うことができる人材の育成、ニーズに応じたプログラムの充実、市民のスポーツ実施につなげる団体の支援も充実していきます。	基本施策(1)	スポーツを支える人材の育成	スポーツに関するボランティアを行った割合	5.5%	▶ 15%	▶ 15%	「大学連携を推進し、学生が地域で活動できる環境を整える」「スポーツ推進委員と地域との連携強化」「スポーツボランティアの活躍推進」といった取組を推進していきます。
	基本施策(2)	スポーツを支える団体の支援・育成	各主体※が連携・協働して実施した事業の数	0回	▶ 5回	▶ 10回	「スポーツを支える団体と市によるスポーツ推進のビジョンの共有」「スポーツを支える団体間の連携促進」といった取組を推進していきます。
03 スポーツ環境の充実 市民が生活に身近な場所でスポーツに親むことができるよう、「する」と「みる」視点からスポーツ環境の充実に取り組んでいます。	基本施策(1)	「する」スポーツ環境の充実	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」という回答の割合	56.5%	▶ 40%	▶ 25%	「市民の身近なスポーツをする場の拡充※子どもにとっての放課後の「学校」や身近な公園など、スポーツ施設に分類されない「場」を含む。」の取組を推進していきます。
	基本施策(2)	「みる」スポーツ環境の充実	「町田市内でスポーツ観戦した」という回答の割合	12.8%	▶ 40%	▶ 45%	「市民のにぎわいの創出に繋がる施設整備」「ホームタウンチームが活動しやすい施設整備」「スポーツ観戦によるオール町田の一体感の創出」といった取組を推進していきます。
04 スポーツを通じたまちづくり スポーツの魅力を活用して地域の活性化、まちの魅力向上に取り組みます。さらに、的確なスポーツ情報を提供や、市内外にスポーツイベント等の情報を発信し、まちの魅力としてPRしていきます。	基本施策(1)	スポーツ情報の発信	「市のスポーツ情報をきっかけにスポーツに関わった」という回答の割合	42.8%	▶ 60%	▶ 70%	「ターゲットに合わせた効果的な情報発信」「スポーツになじみの薄い市民に対する積極的な情報発信」といった取組を推進していきます。
	基本施策(2)	スポーツを通じたシティプロモーション	地域活性化につながるスポーツ大会の開催数	0大会	▶ 1大会	▶ 2大会	「市民全体のスポーツ気運の醸成」「市外居住者のスポーツを通じた来訪の促進」「国際大会事前キャンプ招致を通じた国際交流」といった取組を推進していきます。

※各主体：町田市のスポーツ推進を担う「市」「町田市体育協会」「スポーツ推進委員」「地域スポーツクラブ」「スポーツ施設の指定管理者、運営団体」「ホームタウンチーム」「学校、教育機関等」「町内会・自治会、商店会等」「市民・ボランティア団体」

成果指標と達成目標



週 1 回以上スポーツをする市民の割合

60.9%
(2018 年)



70.0%
(2028 年)



「する」「みる」「支える」に関わった
市民の割合

93.1%
(2018 年)



95.0%
(2028 年)



主な事業



基本目標

01

基本施策（１）子どものスポーツ推進

「まちとも」と連携した放課後の子どものスポーツ推進

スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。

基本施策（２）働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

企業単位で行えるスポーツ情報・出前講座の提供

商工会議所を通じ、市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組みを支援します。

基本施策（３）高齢者のスポーツ推進

自主グループへのニュースポーツ啓発

スポーツ推進委員が高齢者の自主グループにニュースポーツを普及し、スポーツの面白さ、楽しさを伝えます。

基本施策（４）障がい者のスポーツ推進

スポーツ・レクリエーション教室等の開催

障がい者スポーツ大会や障がい者（児）スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。

基本目標

02

基本施策（１）スポーツを支える人材の育成

大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣

大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。

基本施策（２）スポーツを支える団体の支援・育成

地域スポーツクラブまちだモデルの確立

地域と連携した活動を行う地域スポーツクラブを「まちだモデル」として活動を支援し、地域スポーツクラブのまちだモデルを定着させます。

基本目標

03

基本施策（１）「する」スポーツ環境の充実

「まちとも」と連携した子どものスポーツの場の充実・拡大

「まちとも」と連携し、子どもたちが最も身近な放課後の学校で安心・安全にスポーツを楽しめるようにします。

基本施策（２）「みる」スポーツ環境の充実

陸上競技場観客席増席によるにぎわいの創出

陸上競技場を 15,000 人収容のスタジアムに改修し、競技場の活用の幅を広げ、市民のにぎわいを創出します。

基本目標

04

基本施策（１）スポーツ情報の発信

市内 10 地区のスポーツマップの作成・活用

地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。

基本施策（２）スポーツを通じたシティプロモーション

関係団体と連携したイベント開催体制の強化

スポーツ団体、ボランティア組織、観光関係団体等が連携し、スポーツイベント開催時に必要な調整や手続きに係る事務をパッケージ化して、イベント開催を円滑に進めます。



←町田市スポーツ推進計画に関する市の WEB サイト【QR コード】

2019 年 3 月 発行
町田市文化スポーツ振興部スポーツ振興課
〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22
【電話】042-724-4036

この冊子は、企画から印刷まで外部へ委託しており、600 部作成し、1 部あたりの単価は 210 円です（職員人件費を含みます。）。

